

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104563		
法人名	医療法人春風会		
事業所名	グループホームはるかぜ黎明		
所在地	鹿児島市照国町3番18号		
自己評価作成日	平成23年3月7日	評価結果市町村受理日	平成23年5月31日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	なし
----------	--------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会
所在地	鹿児島県鹿児島市城山一丁目16番7号
訪問調査日	平成23年3月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

とにかく、明るい雰囲気をもっとに日々生活しています。スタッフも入居者の方も仲がよく、いつも笑いが絶えないホームです。地域の方々との交流も自慢のひとつで、町内会、あいご会、隣近所の方々も協力的です。季節ごとの行事等にもご協力を頂きとても助かっています。医療法人連携体制が確立され24時間緊急対応も出来ます。入居者の方たちも高齢化、重度化し出来ることがかぎられてきていますが、したいこと、出来ることを、無理なく、楽しく、出来るようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

神社や公園、博物館や図書館などが点在する静かな住宅地に建ち散歩や買い物に便利なホームである。平成17年に開設され、落ち着いた室内で馴染みの人たちとゆっくり気ままに過ごす利用者の姿が見られた。
【事業所の優れている点、工夫点】
 ・職員の高齢化が進行している。
 ・経験豊富な職員により質の高いケアが提供されている。
 ・町内会との連携により、ホームが地域の避難場所となったり、町内会がボランティアの育成を図り非常時に駆けつけるなど相互協力の態勢作りを進めている。
 ・この近隣に住んでいた利用者が多く、家族同士も知り合いであるなど馴染みの関係が継続され地域密着のメリットを生かした支援が行われている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	自分達で作上げた理念があります。毎朝全員で唱和し、ケアを行っています	開設当初に地域密着の視点を盛り込んだ理念を作成し、玄関に掲示している。毎朝唱和したりケアの中で折に触れて振り返るようにし、職員全員が口をついて出てくるようになっている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域、あいご会、校区の催し等声かけて頂き参加しています。小学生、中学生の子供達が職場体験等で来所したり交流は盛んです	地域・学校行事や清掃活動に参加し、交流を積極的に進めている。また、ホームのパンフレットを配布したり町内会総会に参加しホームを理解してもらうよう努めたり、災害時の避難所として利用してもらうなど地域に密着した関係ができています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会の総会で認知症について話をしたり、行事等に参加し説明、交流を通して、理解や支援をしていただいています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催しています。ご家族、地域住民、民生委員の方達に参加していただき、ホームでの取り組みや様子を報告し、ご意見をお聞きしサービスの向上に努めています	町内会長、民生委員、地域住民、地域包括支援センター等の参加がある。利用者全員の家族にも声をかけ、参加を働きかけているが参加者は限られている。また、町内会などからの質問や提案があり有意義な会になっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	空き状況や困難ケース、事故報告等連絡を取りながら、協力関係を築いています	介護保険関係の諸手続きのみでなく、利用者を取り巻く関係機関と連携を取りながら問題解決に向けて取り組んでいる。調整の必要な問題などは法人を通して働きかけ、連携を図っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月身体拘束廃止について、勉強会を開き職員全員が身体拘束をしないケアを行っています。また玄関の鍵は常に開けてあります、いつでも出入り自由にしてあります	毎月身体拘束にあたる行為がないかの確認をしている。特に注意が必要な時間帯は2階の出入口に鍵を掛けることがあるが、利用者の行動や希望を把握するとともに家族とも話し合い、できることを職員全体で検討し対応方法を共有しながら鍵をかけない暮らしを目指している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	精神的、身体的な虐待が行われないように、研修や、勉強会をと通して学び、職員同志厳重に注意し防止に努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度をご利用の方や今後利用を検討中の方もおられます。それらをいつでも活用できるように、資料、研修などを通して職員への情報提供を行っています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	共に読み合わせ、質問等の時間をゆっくり設け納得していただいたうえで、契約、解除を行っています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「ご意見箱」を設置しています。ご家族が職員に何でも意見、要望が言える環境にしています	毎月「便り」を発行し利用者の暮らしぶりや職員の異動を伝えたり、金銭管理の報告も行い家族とのコミュニケーションを図っている。また、家族の来所時は声を掛け話しやすい環境作りに努めている。さらに、第3者委員を設け、利用者や家族が要望などを外部者に表せる機会を設けている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議や、朝の申し送りを利用して、意見や提案を聞いて反映させています	毎月行われる職員会議で、運営に関する意見交換を行っている。昨年課題となった新人研修の仕組みを話し合ったり、ケアのチェック表を全員で作成したり、入居予定者について職員にも相談するなど職員の意見を反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格手当を支給し、資格取得のための勉強会を開催したり、有休もとりやすい環境を作っております		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	すべての職員が研修を受けるようにしてあります。有料の研修に関しては、参加費をだしてもらい、研修報告をして質の向上に努めています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	鹿児島市のグループホーム協議会に加入し随時勉強会や交流会をしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時前、自宅訪問、面談をさせてもらっています。ご本人の意向に沿ってケアが出来るように努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にいつでも、何回でも見学して頂き管理者、職員、ホームの雰囲気などを見ていただいています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームの利用でいいのか、それ以外のサービス(小規模多機能など)の方がいいのではないかと良く見極め紹介等もしています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人と人のお付き合いという姿勢で共に出来ることは一緒に行い、笑ったり、涙流したり、時にはお叱りをうけながら、信頼関係を築いています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	いつでも気軽に面会に来て頂き、外出、外泊をされたり、ホームの催し物を一緒に楽しんでいただく場面や機会を作っています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚やお友達との交流が行えるように支援しています	以前の生活や家庭環境などを把握し主治医や宗教関係者、美容室などとの関係が継続するように支援している。また、電話や手紙なども利用しこれまでの関係を断ち切らないような支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	皆さんとホールで過ごされたり、歌を歌ったり、散歩に出かけたり、お互いの居室を歩き来されたり和気あいあいの生活ができています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方のご家族が、お花や野菜などを持ってきてくださいます。入居者の方達と一緒にお見舞いに行ったりしています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の思いや希望を優先し、困難な場合は、ご家族、職員の考えも参考に本人と話し合いながら検討しています	日々のかかわりの中で常に笑顔が心がけ、話しやすい雰囲気作りに努め、本人の意向をくみ取るようにしている。また、言葉からの把握が困難な方も日々の行動や表情から気持ちをくみ取り介護記録に記載し職員間の共有を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活歴を聞くと共に情報収集に努めその人らしい暮らしを支えています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その方の心身の状態をよく観察し、したいこと、出来ることを尊重し、大いに力を発揮してもらえるように努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成に当たっては、ご本人、ご家族、職員を交えてサービス担当者会議を開き、ご意見、ご希望が反映できるようにしています	毎月職員会議で利用者の状況を確認し、6か月ごとに担当者が実施状況を評価し、年1回以上は本人や家族が出席した担当者会議を開催し新しいプランを作成している。ケアプランは記録に挿み内容を意識しながらのケアや記録を心がけている。	利用者の高齢化で主治医との連携が重要になってきています。主治医の担当者会議参加が難しい場合でも、書面を利用するなど主治医等医療関係者のアドバイスを積極的に取り入れるような工夫が求められます。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者一人一人に担当の職員を決めて毎月実践評価を記録し、介護計画の見直しに生かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護保険の中のグループホームとして対応できるとことはやっています。母体が医療法人なので体調管理や栄養管理等支援しています。希望のご家族は宿泊できるようにしています。フットケアを利用されている方もあります		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、町内会の方々の協力をいただいています。ボランティア、警察、消防の協力もお願いしています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人、ご家族の希望するかかりつけ医療機関を受診してもらっています。往診もいただいています	利用者や家族の希望を尊重したかかりつけ医である。介護記録やチェック表を利用し主治医との情報交換を図っている。家族には電話や面会の際に説明し、職員間では医療ノートや申し送りノートを利用し確実に情報を共有している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	母体の医療機関やホットラインをいつでも利用し相談できる体制を、整えています。その他の医療機関に関しても受診時相談できています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医や看護師ご家族との情報交換を行い、安心して入院でき、早期に退院できるように支援しています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日々健康管理情報をご家族と共有し管理が必要とされる方の場合には対応及び、過ごし方についてご家族や、主治医、職員と意見交換し、随時対応の確認を行っています	重度化した場合や終末期は協力医と連携を取り、利用者の意向があれば最後まで看取る方針であるが、現在の職員の配置では一部を再度確認する必要も感じている。指針については、利用者の入居時に説明し同意をもらい、職員も共有している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ホットラインを開設し24時間対応できるシステムが確立されています。全ての職員は、緊急時の対応を勉強しています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会をはじめ近隣の方にもおねがいし災害時にはご協力をいただけるようにしてあります。年2回は、消防、地域住民を交えて避難訓練を行っています	毎年2回夜間想定も含めた避難訓練を行い、スプリンクラーの設置も終え火災に対してできるだけ備えをしている。また、避難場所になったり、町内会との連携で町内ボランティア「ヘルプ照国」が編成されより安心な協力体制が整いつつある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ことばの暴力にならないように、相手の立場に立って対応をしています	行動はもとより言葉の対応については常々職員同士で声を掛け合い気をつけている。記録物は事務室などに保管し、日々の記録は来訪者の目に触れないように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いや気持ちがあつても表せるように働きかけたり、こちらが、気づくように努めています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や入浴はある程度幅をもち、ご本人の希望や、体調を考慮し対応しています。お一人お一人のペースを大切にしています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人やご家族の好みの洋服を着ていただいております。美容院や訪問理容を利用され好みの髪型をされています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員と一緒に買い物に行ったり、盛り付け、配膳、下膳等できる方をお願いして、食事を行っています	献立は毎日利用者の希望を聞きながら決めている。梅干し作りやタケノコやつわぶきの下ごしらえなど季節を感じながら一緒に支度をし食事を楽しんでいる。また、庭でとれた野菜も食卓に上っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量や食事量は毎食記録し個別に好みの提供や食事形態で栄養バランスや摂取量など十分に考慮しています。朝食は習慣でパン食の方もいます		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声かけ、見守りを行い、出来ない方は、介助して口腔ケアを行っています。就寝時は義歯洗浄をしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表をつけ排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行い、日中は全員トイレを使用しています。	排泄チェックシートで一人ひとりの排泄のパターンを把握し、タイミングを見てさりげなく声をかけるなどの配慮をしている。排泄の支援をプランに入れできるだけ自立できるように働きかけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分や野菜を多めにとることを心がけて食事を提供しています。毎日ヨーグルトや牛乳を提供し、廊下歩行などを行い、どうしても排便がない方は、主治医と相談し薬を服用しています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週3回隔日の入浴になっていますが、希望されるときは、柔軟に対応しています。毎日でも入浴できます。時間も好きな時間に入れるようにしています	入浴日は決めているが希望があればいつでも入浴可能で、仲の良い方と一緒に入ってもらったり、安心して入浴できるように2人で介助するなど気を配っている。希望者はフットケアを取り入れ安眠につながるような支援の機会を設けている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠チェック表をつけ出来るだけ昼間の運動を心がけていますが、あまり夜間に眠れない方は、昼寝も促します		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は医療記録や薬情について理解し医師や看護師、薬剤師等から説明をうけます。服薬時は職員間で声かけ確認をし、変化時は報告、相談しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物干し、たたみ、食事の準備、片付けなどの出来ること、歌や散歩の好きなこと、コーヒー、紅茶、お茶、ジュースなどの飲み物はいつでも飲めるようにセッティングしておき、楽しみながら生活できるようにしています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気体調をみながら、近くの公園や神社などに出かけています。春は花見、夏はソープン流し、秋は菊祭りと全員で出かけています。ご家族や地域の方々との協力をいただきながら、地域の行事にも参加しています	公園や店舗があり外出をしやすい環境で散策を楽しんでいる。また、家族の協力ももらい、ドライブやスーパーへの買い物など一人ひとりの希望に沿った外出の支援を行っている。車イスを利用して外出する方が増えてきたが少人数で出掛けるなどの対応で戸外に出る機会を作っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理できる方はおりませんが、財布やバッグを持つことで安心される方には少しのお金を管理してもらっています。職員と一緒に買い物に行ったりしています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は、いつでも使えるようにしてあります。ご家族の方とよくお話をされています。手紙やはがきも良く来ます、文字を書けない方は電話で返事をされています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	絵や花、写真、季節行事に合わせて飾り付けをして楽しんでいます。場所がわかりやすいように、大きな文字で表札等を作っています	畳やソファが配置され、玄関にはベンチが用意され好きな場所でくつろぐことができる。ホーム内はひな人形など季節の装飾や花が飾られ明るく落ち着いた雰囲気である。キッチンで料理を作る様子がうかがえ、音やにおいなどが五感を刺激している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル席は一応決まっていますが、そのときで好きなようにお座りいただいています。和室やお気に入りの椅子などがあります		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご自宅で使用されていた馴染みの家具や電化製品、置物などを持ち込まれて安心して生活できるようにしています	家族の写真を貼ったり、ソファ、こたつ、テレビ、ラジオ、冷蔵庫、ぬいぐるみなど個人のものが持ち込まれ、ベッドの向きなども利用者と相談しながら一人ひとりの好みに応じた居心地の良いスペースが提供されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	問題点はあると思いますが快適に安全に生活できるように、目配り、気配りをしております		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	自分たちで作上げた理念があります		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会をはじめ、あいご会他との交流も多く校区内の行事や文化祭等にも積極的に参加しています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町内会の総会時にお話をさせていただくと共に、地域の行事等にも参加し、交流を持つことで認知症の方の理解や支援をお願いします		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回、ホームでの活動や生活ぶり等をお知らせし又ホームに対するご意見も頂きながらサービスを提供している		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	入居にあたり困難なケースなど連絡を取り合い助言を受けながらサービスを提供している		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアを職員全員が理解しています。身体拘束廃止委員会を設け毎月勉強会を行います。正面玄関の鍵はいつも開けてありいつでも出入りできるようにしています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	資料、研修等を通し学び虐待が行われる事のないように厳重に注意しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	資料、研修等を通し随時スタッフへ情報提供を行っています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	共に読み合わせ質問等の時間をゆっくり設け納得していただいたうえで契約しています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置を行い又話を伺う時間作り等、意見をしやすい環境を整えています		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティング、管理者会議、毎朝の申し送り等を利用して意見を聞くようにしています		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	資格手当を支給し、資格取得の為に勉強会を開催したり、有休もとりにやすい環境をつくっております		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修は多くのスタッフが受講できるようにしています。研修報告をしてもらい全スタッフが閲覧しています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	鹿児島市のグループホーム協議会に加入し随時勉強会や交流会に参加しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前の面談をさせていただいて、本人の意見に沿ったケアができるようにしています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に見学をして頂き管理者、スタッフ、ホームの雰囲気などをみていただいています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームの利用基準に沿ったその中で必要な支援を見極められるように努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の準備や掃除、洗濯物等の日課を通して教えていただきながら共に笑い涙しながら信頼関係を築けるように接しています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の協力をもらい普段の生活やホームの催し物など一緒に楽しんで頂く場面や機会を作っています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	親戚や友人の面会、毎月の倫理の会への参加や外出や外泊の機会を大事に支援しています		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	耳の遠い方や性格を把握しホールでの歌や洗濯物たたみ、散歩など関係が円滑になるように調整役となり支援しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族の方とのお付き合いは継続しています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その方の思いや意向に沿ったケアを心がけ希望を優先しつつ家族やスタッフと検討しています		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活歴を聞くとともに情報収集に努め、その人らしい暮らしを支えています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その人の言動や感情表現を大切に、思いを察し小さな変化に気づき入居者の現状を把握できるように努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成にあたっては本人、家族、スタッフを交えサービス担当者会議を開き意見や希望が反映できるようにしています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	健康面、生活面、リスク面を記録に残しスタッフ間の情報共有を徹底し介護計画への見直し評価を実施しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	介護保険の中のグループホームとして対応できる事はやっています。母体が医療法人なので体調管理や栄養管理など支援しています。希望の家族は宿泊できるようにしています。フットケアを利用されている方もいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察、消防の協力をお願いしています。校区の運動会、文化祭など招待を受け参加しています。ボランティアの方も協力的です		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望するかかりつけの医療機関を受診してもらっています		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	母体の医療機関やホットラインを結び、いつでも相談できる体制を整えています。その他医療機関に関しても受診時に相談できています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医や看護師、家族との情報交換を行い安心して入院できるようにし早期退院できるように支援しています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日々の健康管理情報を家族と共有しており医療管理が必要とされる方には対応及び過ごし方について家族や主治医、スタッフと意見交換し随時対応の確認を行っています		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年2回防災訓練を行い緊急時の対応を勉強しています。ホットラインを開設し24時間対応できるシステムが確立されています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	町内会をはじめ近隣の方にもお願いし災害時には協力を頂けるようにしております。避難訓練を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ことばの暴力にならない様に相手の立場に立っての対応をしています			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活の場面で入居者の決定や希望の表現ができるように働きかけたり察したりし対応しています			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事時間や入浴等ある程度の幅を持ち個人の体調を考慮し入居者のペースを大事にしながら希望に沿った柔軟な支援に心がけています			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人や家族の希望や好みの物を着ていただき、美容院や訪問理容で好む髪型や染めをしています			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下準備、盛り付け、配膳、下膳、食器洗いやお盆拭き等、入居者の方の積極的な参加もあり一緒に行っています			
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量や食事量は毎日記録し個別に好みを提供したり食事形態で栄養バランスや摂取量など十分に配慮しています			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声かけ、見守りを行い必要に応じて介助しています。就寝前は義歯洗浄を行っています			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を付ける事で排泄パターンを把握しトイレ誘導しています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表を付ける事で排泄パターンを把握し薬調整をしています。毎朝の牛乳やヨーグルトを提供し便秘予防に努めています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週3回隔日の入浴日を設けていますが希望される、それ以外の入浴時間も柔軟に対応しています		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠チェック表を付ける事で昼間にその人らしく過ごして頂き安眠できるように1日のリズム作りに努めています。あまり眠れない時は昼寝を促しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療記録や薬情について理解し医師や看護師、薬剤師などから説明を受けています。服薬時はスタッフ間でも声かけ確認しています。変化時は医療機関へ報告、相談しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器洗い、洗濯物、掃除、料理の下準備外出(買い物、散歩、外食、ドライブなど)それぞれの好きな事を把握し個性を活かせるように心がけています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	できるだけ希望に添えるように支援しています。日常的には近くの公園や神社への散歩や買い物、ドライブに出かけています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>管理できる方はあまりいませんが財布を持ち少しのお金を管理されている方もいます。一緒に買い物に行ったりしています</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話は希望に沿い自由に使えるようにしています。家族からの電話や手紙、絵葉書等がきます。返事の電話をされたりし共に安心できるように努めています</p>		
52	(19)	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>絵や花、写真、季節の行事に合わせて飾り付けをしています</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テーブル席は決まっていますがその場面で他席やソファや和室で思い思いに過ごされています</p>		
54	(20)	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で利用していた家具や希望で電化製品、仏壇などを持ち込まれ安心して生活できる場所であるようにしています</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>問題点はあると思いますが安全に生活できるように目配り、気配りしています</p>		